

平成23年3月31日

〔緊急〕 第60回日本口腔衛生学会総会延期のご連絡

このたびの東北関東大震災に被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。亡くなられた方々のご冥福を謹んでお祈り申し上げます。被災の範囲は広範な地区におよび、原子力発電所事故についてはトラブルが今なお進行している状況にあります。しばらくは国民挙げての復興支援に力を向けることが求められているところです。この苦しみを分かちあい、必ず復興するという誓いが、今、日本中に広がりわたっていることを感じます。

本年度の当学会総会は、「健康社会とフロリデーション」をテーマに、179題の演題、4題の自由集会の申し込みをいただき、2つの特別講演、2つのシンポジウム、8020推進財団共催シンポジウムの準備を順次進めてまいりました。そして、来る5月19日、20日、21日、千葉市での開催を控えていたところでした。ところが、この未曾有の大震災で次のような問題点が生じて参りました。① 東北関東被災地の皆様が基本的な生活を回復するのに時間がかかること、② 道路鉄道等の交通網を回復するのに時間がかかること、③ 福島原発事故の推移が不明であること、④ 計画停電の影響の長期化（停電が生じた場合プログラムの進行が保障されないこと）、⑤ 日本渡航が禁止され、特別講演のマイケル先生（オーストラリア）の学会参加ができなくなっていること、等です。

このような現況にあつて、米満理事長はじめ常任理事の皆様、当初の計画通りに学会を開催することは極めて困難であることを率直にお伝えしましたところ、次善の策として延期すること止むなしとのご判断をいただきました。今後ご指導をいただきながら、また復興の進展状況、原発事故克服の推移を見据えながら、日時（秋季）、場所などについて、延期案を具体化したいと存じます。今年度初期計画案の範囲内で最善を尽くしたいと存じます。そしてできるだけ早く、再び、皆様に計画案をお知らせしたいと存じます。今までの学術発表の準備とご出席を予定頂いた学会員の皆様方、開催準備にご尽力いただきました関係者の皆様に深くお詫びを申し上げます。

諸般緊急の中、まずは学会総会開催延期のご報告をさせていただきます。

第60回日本口腔衛生学会総会
学 会 長： 小林 清吾
準備委員長： 後藤田 宏也